

平成 25 年 12 月 2 日(月)

南九州新聞掲載

# くしら黒土祭りにて、中学生をサポートしてプリクラ販売

## 接客が好きで楽しい

### 串良商業生くしら黒土祭りて

## パワーアッププロジェクト

23日の第38回くしら黒土祭り、串良商業高校では「パワーアッププロジェクト in くしら黒土祭り」を開催した。

串良商業高校のハイスクールスチューデントリーダーから学んだ串良小学校と串良中学校の児童生徒と商業高校生が、高校の先生の指導を受けて、プリクラとオリジナルカレンダーの製作販売を行い就業体験した。

23日の第38回くしら黒土祭りがオリジナルプリクラを作っていた。小・中学生が写真撮影し、中学生がパソコンで写真データを処理し、プリンターでプリクラを打ち出す。中学生は高校生から指導を受けながら作っていた。プリクラを作ってもらった串良中学校2年生の永吉茜さんら4人は「思ったようなハートに囲まれたプリクラができて可愛い」と話した。

志布志市のSUMOMOと共同開発したピーマンケーキ、ピーマンの肉詰め、ピーマンドレーヌなど4種の開発商品を500個販売した。

統合予定の大崎町にある有明高校と共同企画で、有明高校生が生産したカボチャ、トマト、ほうれん草、白菜などの野菜とパンジーなどの鉢物の販売もあった。3年生の大山佑さん(17)は、はつらつとした声で通行人に声をかけ、「接客が好きで楽しい」と話した。



お気に入りのプリクラを作ってもらった中学生